

日本動物看護学会 関西地区第2回 感想レポート

渡辺 恵美子

長年待ちわびていた関西での勉強会。第1回は時間を合わせることができず涙を飲みましたが、漸く今回参加することができました。親睦会でも、活躍されている方々と話を交わすことができ、嬉しく満足した心持で帰宅しました。

① 特別講演「動物たちのゆたかな心」

藤田和生先生（京都大学大学院文学部研究科教授 比較認知科学）

比較認知科学とは……「ヒトを含めた種々の動物の認知機能を分析し、比較することによって、認知機能の系統発生を明らかにしようとする行動科学」である。

研究方法として

- ・自然的観察法→環境条件と行動の相関を調べる
- ・実験的観察法→観察機会を増やし、環境条件と行動の因果関係を調べる
- ・実験的分析法→自然な行動を利用できないとき、厳密な分析が可能
- ・なんでもあり→工夫してより多くのデータを集めるべきである

最近の研究として、実験的観察分析法により、オペラント条件づけをうまく利用し、訓練を重ねた後に様々な研究結果を得ている。

こころは学習・発達・進化によって変化しているとみられるが、系統発生的に心の連続性と考えられる面と、心の多様性と考えられる面があるとわかってきている。

こころは感情へとつながっていき、ヒトの心の相対論へと導いていける。

→が、私は今のところ魚、鳥レベルでの実験やサル等、高次動物の研究が多くみられる。これを、昆虫……無脊椎動物レベル以下での研究及び小児動物での（若齢での）研究、又、動物のヒトへの認識という関わりの心の研究に興味を持ちました。

これから、ペット及び周りの全ての動物、植物、命に対しての関わりの中で、相手は我々に対してどのような心（認識）で関わっているのか、ということがもっとわかれば面白く、素敵だと感じました。

② 発表

1) ウサギの不正咬合の看護→1日何回、粉末にしての量、希釈率 etc.

もっと詳しく報告するべきだと思いました。発表でも反省していたが、与えたシリンジの改善を考えたいと思う。

2) 北摂夜間救急動物病院における看護師の役割

→コミュニケーション能力、カウンセリング技能の習得、ペットロスの深い勉強がこれからもっと我々動物看護師に求められていると強く感じました。

3) オーナーが病院スタッフに求めるもの

→・幅広い知識と技量

・適切なコミュニケーション能力

これは予想通りだと考える。発表にあったように課題として

・人材・時間の確保

・人材育成

・能力に対する報酬

・教育と学習について

の必要性は無視できないと考えます。

動物看護師としての仕事、立場、存在を確固たるものとし、社会の中でも成長していく上で、個人々々の努力はもちろんのこと、看護師同士の勉強会、協会を立ち上げてから多くの声をもって、この課題に取り組んでいく必要を感じました。

4) 動物看護師に対するイメージ→悪いイメージはなさそうで良かった。

食餌、栄養、飼育、介護 etc. の助言を知識と今までの経験による生の声で上手くできるよう頑張りたいし、これなら私でもできる！ と自信とやる気が湧きます。

5) 動物病院の入院施設に対するイメージ

→調査は、動物を飼っている方、動物病院へ足を運ぶ意志のある方が基本で、やはり「動物のことを心配しているから」という結果であると捉えられる。私達看護師は、これを察し、入院患者に対しては気づくこと全てに対し改善の努力を日々重ね、心を持ってケアし、飼い主さんの「心配のカタマリ的心」に寄り添うよう心がけ、面会時 etc. では、できるだけ患者の様子を小さなエピソードを交えながら詳しく伝え、心配を和らげてあげると共に、私達も必死でケアしていることのアピールも大切かと考える。

6) 臨床実習について

→私も学生中は動物病院で毎日実習兼アルバイトをしていて、この経験が机の上での勉強の理解・定着に大いに役立ち、臨床実習は必要不可欠といえる。教員の付き添い実習であること、実習前後での記録物、本日の目標と振り返りの記録物は非常に有用だと考える。受け入れ可の動物病院の確保が大切であり、これは獣医師会 etc. の協力を得なければならない。それにはやはり動物看護師のレベルアップ（＝我々のレベルアップ）が、後輩を育てていく上で、さげられないことである！

7) インターンシップ受け入れ体制について

→これは ・動物病院の1日の流れを知ることができる

- ・動物看護師の役割を理解する
- ・動物看護師の職種内容を理解する
- ・診察時の看護の役割と援助について学ぶ

という点や

- ・提出物に必ず目を通してコメントする
- ・休憩は一人にしない
- ・スタッフ一人が付き添って指導する
- ・記録学習をする

という点において、新人スタッフ養成にも良いヒントを得られました。